

令和7年「相模の大凧まつり」結果概要

1 開催日時 令和7年5月4日（日・祝）・5日（月・祝）午前10時～午後4時

2 開催場所 相模川新磯地区河川敷

①新 戸地区凧揚げ会場（ 8間凧、3間凧）

②勝 坂地区凧揚げ会場（5.5間凧、3間凧）

③下磯部地区凧揚げ会場（ 6間凧、3間凧）

④上磯部地区凧揚げ会場（ 6間凧、3間凧）

3 主催者 相模の大凧まつり実行委員会（実行委員長 八木 亨）

4 期間中の観客数

期間	観客数	ピーク	天候
5月4日（日・祝）	4会場延べ 80,000人	14:00 40,000人	晴れ
5月5日（月・祝）	4会場延べ 85,000人	14:00 40,000人	晴れ
両日合計	165,000人		

※前回（令和6年）は5月4日 90,000人、5月5日 88,000人、
計178,000人

※過去最高の人出は平成22年の180,000人

5 経過

5月4日・5日の両日、相模原市の伝統行事「相模の大凧まつり」が開催されました。

今年の題字『喜翔（きしょう）』には、「米大リーガー、ドジャースの大谷翔平の活躍で世界中の方が称賛し喜んでいます。さらなる活躍を望んで大空に翔いてもらいたい。」という意味が込められています。

5月4日は天候に恵まれ、北風が吹く中、各地区で大凧を揚げました。

5月5日は天候と南風に恵まれ、より大きな大凧揚げにチャレンジしました。最も大きな新戸地区の8間凧は3分30秒、勝坂地区の3間凧は5分37秒、下磯部地区の6間凧は30分、上磯部地区の6間凧は24分16秒の滞空時間を記録しました。

両日とも、大凧が各地区の空に舞うと、訪れた観客から大きな歓声が沸き上がりました。

※各地区の凧揚げ状況については次のとおりです。

各地区の凧揚げ状況

(5月4日) 天候：晴れ

地区名	凧揚げ回数	最長時間	時刻(何回目か)	風向き
新 戸	3間3回	3分15秒	午後2時20分(3回目)	北風
勝 坂	3間3回	1分32秒	午後3時23分(3回目)	北風
下磯部	3間7回	1分23秒	午後2時15分(3回目)	北風
上磯部	3間6回	4分20秒	午後1時25分(1回目)	北風

(5月5日) 天候：晴れ

地区名	凧揚げ回数	最長時間	時刻(何回目か)	風向き
新 戸	8間4回	3分30秒	午後2時10分(4回目)	南風
勝 坂	3間3回	5分37秒	午後2時11分(3回目)	南風
下磯部	6間2回	30分00秒	午後2時50分(2回目)	南風
上磯部	6間8回	24分16秒	午後2時55分(7回目)	南風

※これまでの8間凧の最高記録…平成14年5月4日 6時間7分55秒



(5月5日(月・祝)新戸会場にて撮影)

【問合せ先】

新 磯 まち づくり セン ター
0 4 6 - 2 5 1 - 5 2 4 2